

平成30年10月分 三河港 貿易概況（速報）の要旨

平成30年10月分について、輸出は「金属鉱及びくず」などが減少したものの、「船舶類」、「自動車」などが増加したことから対前年同月比9.5%の増加となった。また、輸入は「果実」などが減少したものの、「自動車」、「有機化合物」などが増加したことから、同0.2%の増加となった。
その結果、差引額は1,647億円（同13.6%の増加）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
三河港	2,288億円	+9.5%	641億円	+0.2%	1,647億円	+13.6%
	2ヵ月ぶりの増加		4ヵ月連続の増加			

輸出				輸入					
	概況品名	金額	伸率		概況品名	金額	伸率		
輸出	増加品目	(1) 船舶類	91億円	全増	輸入	増加品目	(1) 自動車	562億円	+6.0%
		(2) 自動車	2,095億円	+3.7%			(2) 有機化合物	7億円	+648.1%
		(3) 鉄鋼	34億円	11.1倍			(3) 粗鉱物	6億円	+258.0%
	減少品目	(1) 金属鉱及びくず	8億円	▲26.4%		減少品目	(1) 果実	—	全減
		(2) 映像機器	—	全減			(2) 絶縁電線及び絶縁ケーブル	6百万円	▲99.3%
		(3) 非金属鉱物製品	1億円	▲44.7%			(3) 金属製品	1億円	▲55.8%
地域別動向	北米、中南米が増加、大洋州は減少			地域別動向	北米、アジアが増加、中南米は減少				

(参考) ドルレートは、112.90円（前年同月比0.4%、0.50円の円安）であった。

(注) 月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。